

(様式1)

学校名	福島県立福島高等学校	校長	竹田 真二
住所	福島県福島市森合町5-7-2		
TEL	024-535-2391	ホームページアドレス	<a href="https://fukushima-h.fcs.ed.jp/">https://fukushima-h.fcs.ed.jp/</a>

## 福高の挑戦 ～主体的・対話的で深い学びの実現へ～

### ● 取組みの概要

平成19年度より、文部科学省スーパーサイエンスハイスクール（SSH）に指定され、12年目となりました。この間、全国200校余の先進的なカリキュラムを持つSSH指定校との交流を通じて、本校の教育内容は発展しています。昨年度から、本校では生徒全員が課題研究を行い、その過程の中に2年次の研修旅行（修学旅行）を位置づけたのが大きな特徴です。

### ● 内容

課題研究は、生徒320名が研究テーマ毎に班編成を行い、2年次になると一斉に研究活動を進めます。

1年次では、ICT活用など思考のための技術を習得し、①研究テーマの検討（課題発見）→②研究テーマの設定→③情報収集、整理・分析→④まとめ・表現→⑤振り返り・思考の深化→⑥論文作成という過程を通じて「学ぶ」意義を知り、生徒自身の将来への学習に繋げていきます。

今年度の1年生は、①研究テーマの課題を発見するために、福島大学との連携による16名の大学教授を招聘した講義や、課題発見のためのテーマ別研修としてバス8コースのフィールドワーク、講演会等を行いました。

2年生は、4月より61班の研究班に分かれた課題研究が本格的にスタートしました。③情報収集や整理・分析を班のメンバーで議論しながら進め、7月には中間発表を行いました。さらに、社会と繋がることで研究内容をより深めるために、11月の研修旅行では、京都の宿舎を中心に京都、大阪、兵庫、名古屋、岡山、広島など、各班がそれぞれ大学や研究所、企業等を訪問し、自分たちの研究内容について学びました。その事前学習では、自分たちで研究テーマに沿った訪問先を探し電話やメールでの訪問交渉をしました。そして、④研究内容のまとめ・表現を行い、3月のSSH生徒研究発表会で全班が発表することになります。その後、⑥論文作成に取り組みながら⑤振り返り、思考を深化させていきます。

### ● 研修旅行の感想

「目的を持って取り組む課題研究は、結構楽しかった。聞きたいお話が聞けたり、成果が得られたりして嬉しかった。」

「職員の方々は、本当に忙しいところ私たちの研修に付き合ってくださいました。嫌な顔ひとつせず、一生懸命、私たちの研究に何かいかにせるようにとお話をしてくださいました。

そのお気持ちが非常にありがたく、私達も頑張ろうと思いました。」



県内でのフィールドワーク



課題研究中間発表会



研修旅行での大学研修



研修旅行でのディスカッション

作成

西暦2019年1月